

放射線診断科

一般目標

放射線診断学はほぼ全ての診療科の画像診断を担当する中央診療科である。すなわち、これらの基本能力を身につけることは、如何なる科においても診療の基本になると考える。このため、初期研修の目標として一般的な放射線診断学の基本能力を習得することを提唱する。

行動目標

1. 各種画像診断検査の方法、手技、適応を理解し指導医の監督下のもとで各種検査を施行できるようにする。
2. 画像診断報告書作成の基礎知識を身に付け、実際に画像診断報告書を作成する。
3. 各種造影剤の適応、禁忌および副作用を理解し、またそれに対する対処法を習得する。

研修方法

指導医の監督下のもと、胸腹部単純写真の基礎を学び、CT装置の撮影範囲や造影剤の適応などを含めたスキャン計画の指示、MRI装置のパルス系列の理解とスキャン計画の指示を行う。また随時完了した検査に対しては、速やかに画像診断報告書の作成を行う。

血管造影検査がある場合には、助手として検査を施行、カテーテル基本手技の習得し、経動脈的塞栓術などの基本技術を学ぶ。

カンファレンスは院内外問わず参加し、他院の症例も学習する機会を得る。

評価

自己評価、指導医による評価、コメディカルによる評価はEPOCおよび画像診断報告書、評価表を用いて行い、自己、診療科、プログラムの内容を最終的に評価、研修管理委員会に提出する。